

平成23年度における事故ゼロプランの取り組みについて

H23年度における事故ゼロプラン追加箇所位置図

国道1号静清BP(側道) 瀬名中央2丁目交差点
静岡市葵区瀬名中央2丁目3-34 ~ 東瀬名町1-52

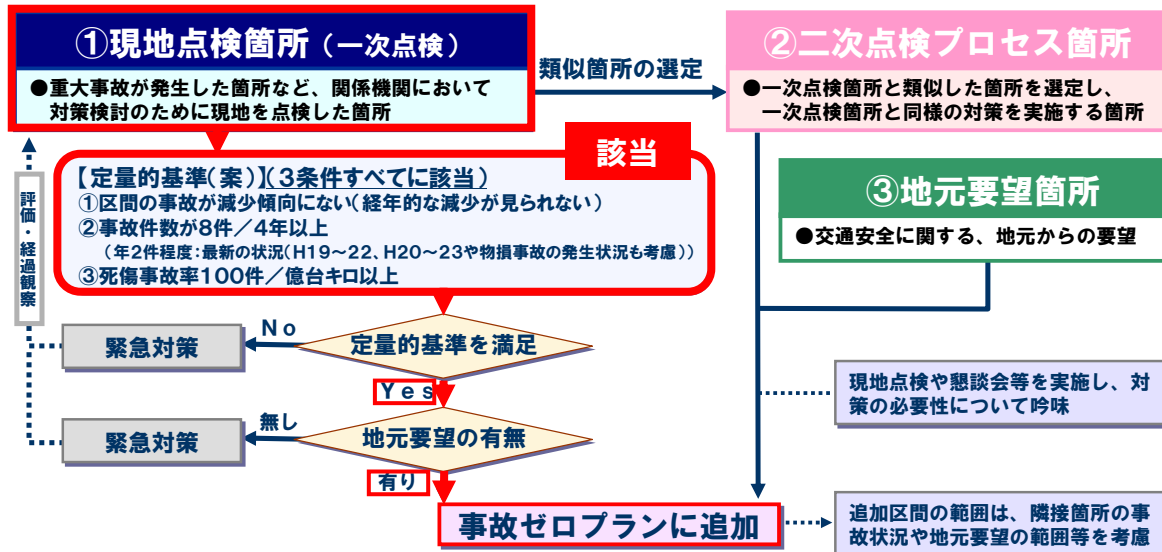


平成23年度における事故ゼロプランの取り組みについて

最新の事故状況・地元ニーズ等を踏まえた区間の追加

▼H23年度における事故ゼロプラン追加箇所

追加箇所		追加理由
路線番号	箇所住所（交差点名）	
国道1号 静岡BP（側道）	静岡市葵区瀬名中央2丁目3-34 ～東瀬名町1-52 （瀬名中央2丁目交差点）	H23現地点検箇所&地元要望

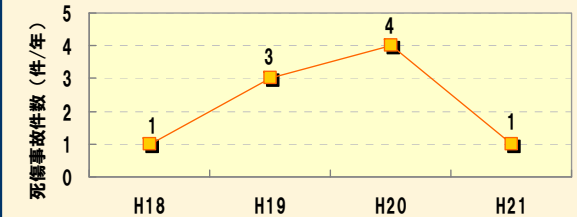


▲箇所選定フロー

瀬名中央2丁目交差点の事故発生状況

①H23. 10. 12に死亡事故発生
H23. 10. 19に現地点検

②事故件数の経年変化



③死傷事故件数：9件/4年

④死傷事故率：632.2件/億台キロ

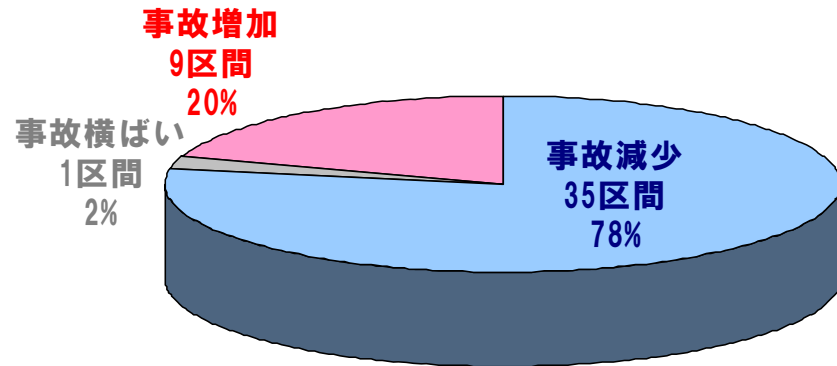
※ITARDA(H18~21)データより

▲当該箇所の事故状況

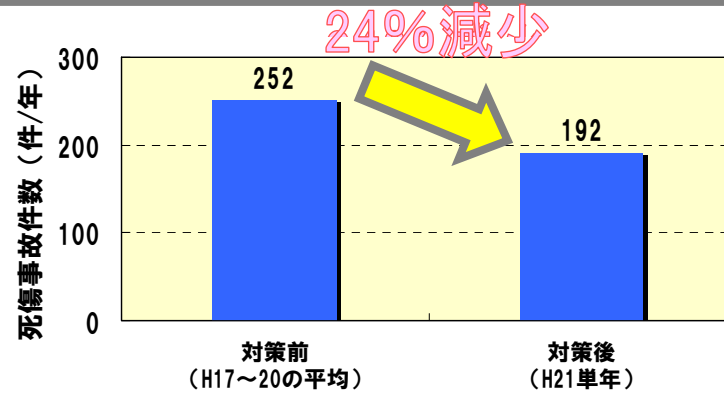
事故危険区間における事故発生状況

対策実施済み45区間のうち、78%の区間で事故減少
 事故件数では、対策前から24%の事故減少（県全体は8%の減少）

H20までに対策が完了した45区間

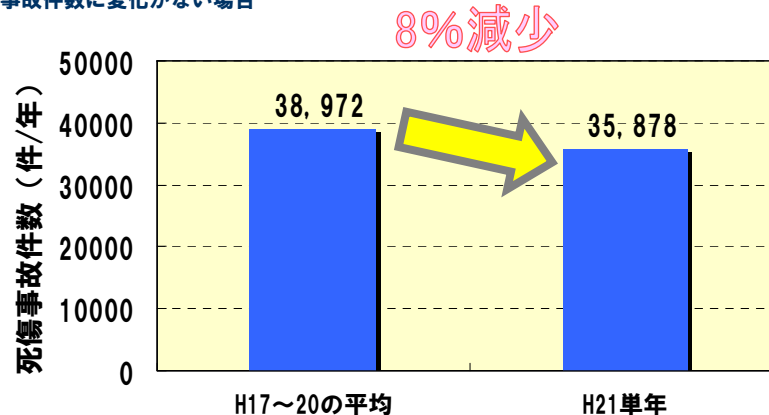


▲対策実施済み箇所の事故の増減箇所数



▲対策前後の事故件数の比較

※事故の増減：H21発生件数－H17～20平均事故発生件数により算出（ITARDA事故データより）
 増加：H21単年－（H17～20平均値）の事故件数が0件より多い場合
 減少：H21単年－（H17～20平均値）の事故件数が0件より少ない場合
 横ばい：H21単年－（H17～20平均値）の事故件数に変化がない場合



▲【参考】同年次における静岡県全体の事故件数 ※出典：交通事故統計年報（H17～H21）

平成23年度における事故ゼロプランの取り組みについて

効果評価

【国道1号 函南町桑原（単路部）】

効果あり

- 平成18年～22年の5年間で、速度超過等に伴う車両単独事故、追突事故等が8件発生
- 速度抑制・車両逸脱防止等対策として、カラー舗装、アローマーク、車線分離標等を設置
- ビデオ調査の結果、上下線ともに走行速度が低下し、対策実施効果を確認

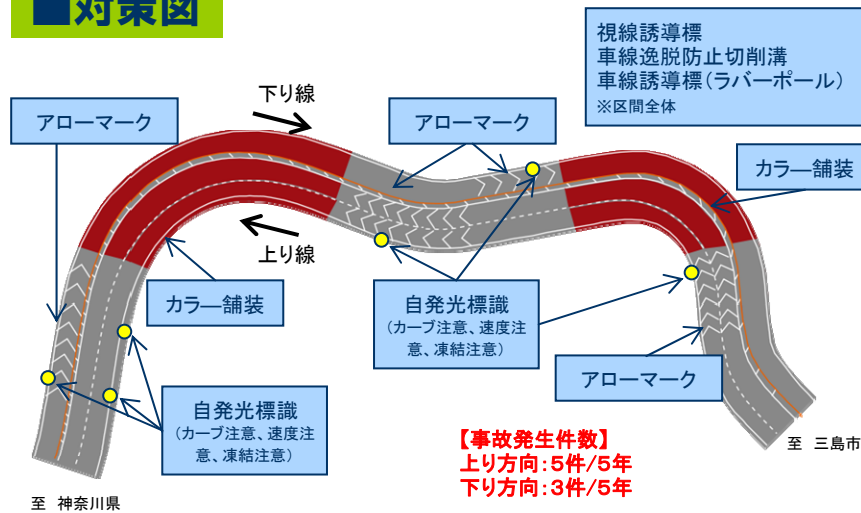
■事故要因、対策

カーブ区間で事故が多く発生している

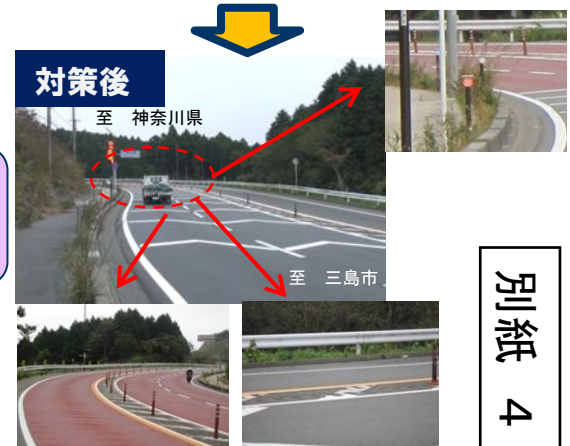
速度超過が主な要因

速度抑制・車両逸脱防止・注意喚起等の対策を実施

■対策図

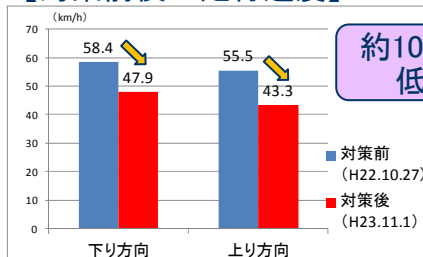


■現地状況写真



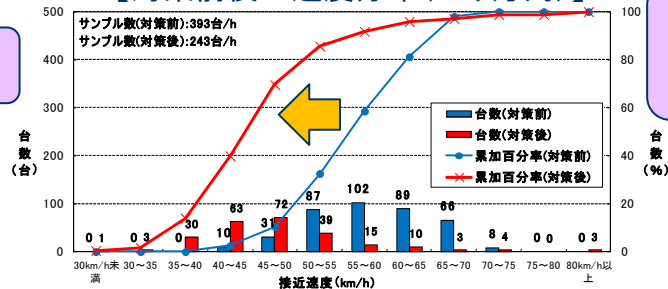
■効果評価結果

【対策前後の走行速度】



※14時～15時の通過車両を対象として計測

【対策前後の速度分布(上り方向)】



全体的に走行速度が低下

平成23年度における事故ゼロプランの取り組みについて

効果評価

【国道1号（浜松バイパス）安新歩道橋交差点】

効果あり

- 平成18年～22年の5年間で、速度超過等に伴う、追突事故等が170件発生
- 追突事故対策（注意喚起看板）、速度抑止対策（赤色減速ベルト）を実施
- ビデオ調査の結果、走行速度が低下し、対策実施効果を確認。利用者の評価もプラス評価

■事故要因、対策

下り坂の後の交差点流入部で事故が発生している。

速度超過が主な要因

速度抑制・追突注意喚起等の対策を実施

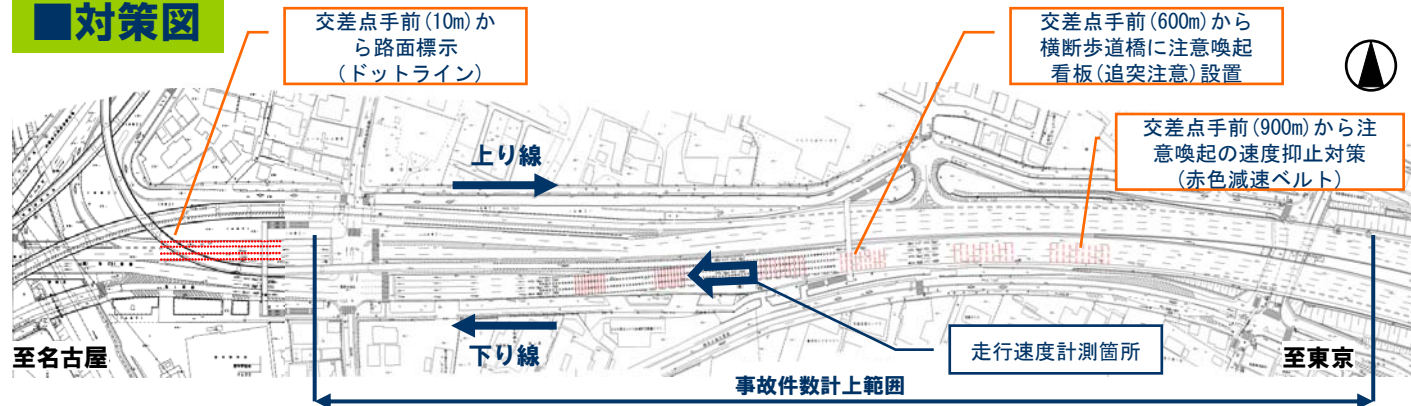


速度抑止対策
(赤色減速ベルト)



注意喚起看板
(追突注意)

■対策図



■効果評価結果

【対策前後の走行速度】

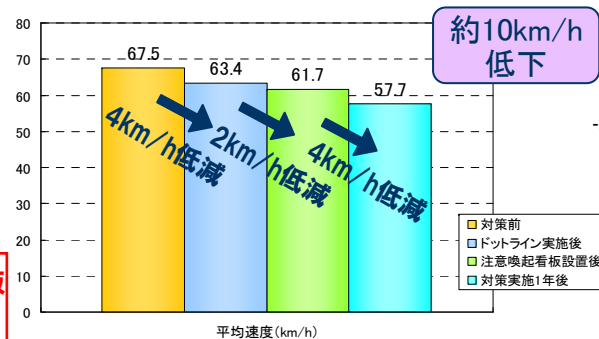


図 対策前後の交差点進入速度(下り)

【対策前後の利用者意識】

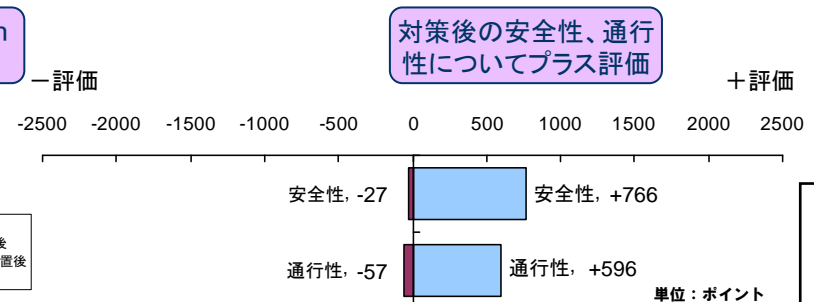


図 対策後の安全性に関する意識調査(WEBアンケート調査)結果